

# 第 31 回 北海道古民家再生協会会員の会例会 議事録

記録日：2013年3月18日

記録者：江崎 幹夫

団体名	一般社団法人北海道古民家再生協会会員の会 例会
開催日時	2013年3月16日（土） 18:00～19:30
開催場所	宮の沢若者活動センター 活動室A
出席者	会員 江崎、齋藤、薄田、石川、横山、瀬口 オブザーバー 山本、皆川、林、阿部（※敬称略）
議事	<p>1) 挨拶 北海道古民家再生協会 理事長 江崎 幹夫 吹雪の中を参加いただいたことへの御礼と感謝を述べた。</p> <p>2) 全国大会の報告（江崎） ①住育映画祭の建てない建築家・坂口恭平氏について ②百年企業・久保田章市氏の講習について ③平成24年度優秀団体賞の表彰を受けたこと</p> <p>3) 講演「北海道の瓦屋根について」（北海道瓦屋根保存普及協会 理事長 林文浩） 3月6日に設立した（一社）北海道瓦屋根保存普及協会の林理事長に講演をして頂きました。林理事長は、北海道における寒冷地乾式瓦屋根構法を長く研究し、確立した方です。北海道での瓦屋根の保存・普及を進めていく旨の熱い想いが伝わってくる、とても素晴らしい講演でした。</p> <p>4) 平成25年度古民家鑑定書の変更について（江崎） ・5月1日からの古民家鑑定にインスペクション・予防保全計画・家歴書等の変更の説明。 ・発行法人が地域の協会に、鑑定料金が10万円になることの説明。</p> <p>5) 平成25年度事業計画案について（石川） 別紙参照</p> <p>6) 北海道伝統資財再生機構からのお知らせ（北海道伝統資財再生機構 代表理事 齋藤康志） ・小樽の築100年の古民家から取り出された古材の再活用が決まった。 ・古民家の調査等には、多くの会員の方に参加して頂いたとの報告。</p> <p>7) 意見交換 ・新しく参加した方からの自己紹介 ・瀬口会員より、小樽・和光荘（大正11年1922年築）の保存について意見。（和光荘は、大正天皇・昭和天皇が宿泊した古民家です。）</p> <p>8) 今後のお知らせ 4月13日（土）18:00 第32回例会・総会（札幌エルプラザ 研修室4） 4月20日（土）9:00 古民家鑑定士講習・試験（宮の沢若者活動センター活動室A） 4月20日（土）14:45 住育検定 試験（宮の沢若者活動センター 活動室A）</p> <p>9) 閉会</p>
決定事項	次回例会4月13日（土）18:00 札幌エルプラザ 研修室4にて行う。
次月議事内容	次回議事録記録者 江崎 幹夫 ・各自報告事項 など